



新病院の基本的な考え方

地域医療の中核病院

地域の医療機関、介護施設等と連携しながら多様な医療ニーズに対応できる機能を備えた病院とします。

断らない医療の実現

中軽度の地域救急の分野においては、断ることなく受け入れを行い、救急医療体制の充実を図ります。

在宅医療の充実

患者の意思や権利を尊重し、可能な限り在宅での療養ができるよう、在宅サービスの展開を充実させていきます。

新病院が  
目指す姿

予防医療の提供

病気の早期発見・治療から地域住民の健康増進を図るため、各種健診や人間ドック等の提供を行います。

災害対応可能な病院

耐震設備を備えるとともに、災害時であっても診療が継続できるよう、必要な機能・体制を備えた病院とします。

安定的な経営の確保

医療環境の変化に即し、最新の情報を分析しながら経営の効率化を図り、安定的な経営を確保します。

1. 新病院の診療機能

入院	一般病棟（一般病床＋地域包括ケア病床） 回復期リハビリテーション病棟 障害者病棟 療養病棟
外来	内科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、婦人科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科
救急医療	1次、2次救急の受け入れ 地域の医療機関及び救急隊との連携
小児・周産期医療	外来診療の継続
リハビリ	365日リハビリテーション アウトカムの管理（在宅復帰支援） 外来リハビリテーション
在宅医療	在宅療養支援病院 訪問診療 訪問看護／訪問リハビリテーション 通所リハビリ（デイケア）
予防医療	健診センター 健康診断（企業健診、成人病健診、生活習慣病予防健診） 特定検診（アスベスト検診、原爆被害者検診、がん検診） 人間ドック／脳ドック 予防注射（インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン、小児予防接種）
産業医	産業医資格の取得
薬局	院外処方／ジェネリック薬品の推進 服薬指導／病棟薬剤業務 持参薬管理
栄養給食	給食（業者委託） 栄養指導
その他	岡山大学、医師会、市内外の医療機関との連携強化 定期的な健康教室、市民講座の開催 市施策との連携

# 新病院計画（案）

## 新病院の建設計画

### 1. 新病院概要

延床面積：約15,200㎡（190床×80㎡）  
 近年整備を行った同規模病院の事例より  
 1床あたり延床面積を80㎡として算定

病床規模：190床

病棟構成：一般病棟（一般＋地域包括ケア病床） 50床  
 回復期リハビリテーション病棟 50床  
 障害者病棟 40床  
 療養病棟 50床

構造：鉄筋コンクリート造 又は 鉄骨造 地上6階  
 耐震構造

【フロア構成イメージ】

6F	療養病棟	設備
5F	障害者病棟	管理
4F	一般病棟	手術
3F	回復期リハビリ病棟	リハビリ
2F	外来	検査 健診センター
1F	受付 薬局 給食 放射線 救急	

### 2. 整備スケジュール

区分	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
経営統合	→		地独法化			
基本計画	→					開院
設計		→				
建設工事			→			
開院準備					→	

※最短での想定によるスケジュールのため変更になる場合があります。

## 2病院の統合計画

### 1. 運営体制の移行

地方独立行政法人制度を活用し、玉野市民病院と玉野三井病院が統合し1つの法人のもとで運営を行う。  
 ただし、新病院が完成するまでの当面の間は、2病院体制を維持し新病院完成後の機能集約を視野に入れつつそれぞれの病院運営を継続する。

